

# 碧空

へきくう ～頂の上の青～

帯広市立帯広第四中学校 学校だより No. 6  
平成29年 9月8日発行 発行者 校長 辻 敦郎

教育テーマ 『静かな時間の創造』  
今年度重点 『連帯感』

## 9月は実りの季節 多くの学び 連帯感

9月に入ると一気に秋風が肌に冷たく感じる頃となり、街路樹のナナカマドの実も色づきはじめました。今年の十勝の夏は例年になく猛暑の日もありましたが、すっかり過ごしやすくなりました。

さて、今月の終わり9月30日（土）から67回目となる文化祭があります。

合唱コンクール、生徒会企画、私の主張、吹奏楽、演劇などの発表や、校舎中に美術や技術・家庭、総合などの作品も満載され、まさに文化の秋を満喫する一大行事です。春の体育祭同様学級や学年の連帯感が一層高められる取り組みになり、地域にも四中生ここにありと印象づけられる格好の場です。限られた期間ですが、体育祭を上回るチームワークを発揮し、伝統ある文化祭を成功に導いてほしいと思っています。

### 進路実現に向け一歩一歩



3年生は進路に向け着実に前進しています。  
今年度は1学期早々に保護者の方と二者面談を行いました。文化祭明けには各高校の体験入学が目白押しで、徐々に自分の道を確認していく時期になります。  
学校から配布する3年生の進路通信「人事を尽くして天命を待つ！！」はすでに32号発行されていますが、進路に向けた大切な情報が載せてありますので、ご家庭でお子さんに一言声がけをし、充分目を通され申し込み期日までにご提出されますようお願いいたします。



## 全国大会に向けた地元壮行公演 および全国発表 無事終了！

先月の「第17回全国中学校総合文化祭」（8月17、18日・横浜市）に初出場する帯広第四中学校演劇部は、14日、全国大会に先立ち、帯広市民文化ホールで地元公演を行いました。

上演した「ヤマタノオロチ外伝」は、古代日本を舞台に「豊かさとは何か」を問い掛ける神話劇で、昨年とは異なる演出と配役で稽古に臨んでの地元公演でした。パントマイムや踊りなどで、一人ひとりが、息を合わせた動きで熱演できました。

上演後は観客席から大きな拍手が送られ、全国大会への決意を新たにもつことができました。



全国大会では、すべてにおいて賞賛の声を頂き、貴重な体験を得ることができました。

### 四中生の頑張りから

☆野球…大空中と連合チームで市内大会参加 リーグ戦で1勝2負（得失点率差で敗退）

☆テニス…男子 市内大会 6ペア出場して3ペア十勝大会出場 十勝大会団体戦出場  
女子 市内大会 7ペア出場して3ペア十勝大会出場 団体戦 敗退

☆バドミントン…男子 市内大会 \*\*\*\*\* 1回戦突破  
女子 市内大会 2シングル 3ペア出場 初戦敗退

☆陸上…□全十勝新人陸上大会（帯広の森）（8月26日、27日）

|           |       |       |    |
|-----------|-------|-------|----|
| 1年男子1500m | ***** | (1-4) | 7位 |
| 男子砲丸投     | ***** | (1-1) | 8位 |
| 男子400m    | ***** | (2-2) | 6位 |
| 男子1500m   | ***** | (2-1) | 7位 |
| 男子3000m   | ***** | (2-1) | 8位 |
| 女子四種競技    | ***** | (2-1) | 6位 |
| 女子四種競技    | ***** | (2-3) | 8位 |
| 女子3000m   | ***** | (2-1) | 5位 |

□北海道ジュニア陸上選手権大会（深川市）（9月3日）

|          |       |    |
|----------|-------|----|
| B男子1500m | ***** | 出場 |
|----------|-------|----|